

5. 学生の意見と大学からの回答

区分	意見	大学からの回答
環境ESD	まだ1年目ということもありいろいろと改善点があると思う。シラバスの時間配分など。	たしかに初年度ということもあり、カリキュラムの運営に急な変更が生じ、シラバスの内容とはことなるなど受講生には戸惑うこともあったことは承知しております。一方、受講生の皆さんの反応を受けて皆さんと共にタイムリーにつくりあげるオーダーメイド講義を意識してカリキュラム運営を試みたという一面もあります。他の皆さんからも有意義なご意見をいただいております今後カリキュラムに反映させていただきます。
複数教員担当の授業	近い内容のこと、専門的過ぎること、先生間での意識の違いというものが残念だった。担当の先生はお手数ですが、集まって話し合い(授業内容や目的について)をされてはどうでしょう。	担当教員(オーガナイザー)コメント コメントありがとうございます。ご指摘の通りだと思います。これまでも学生さんからのアンケートは授業担当教員にフィードバックしてきました。ご提案を受けて、次年度に向けて、担当教員のミーティング(意見交換会)を開きたいと思います。今後とも建設的な意見をよろしくお願いします。
TAについて	教員が生徒一人にかかりっきりになり、教員に質問しにくくなるがあったので、TAの方を一人増やす等して改善していただけると嬉しいです。	大学全体としてTAを充実させる方向で検討しています。ご意見を参考に当該授業でも予算(TAの人件費)の許す範囲内でTAの有効活用を図っていきます。学生側も質問のタイミングの工夫、オフィスアワーやSHDの活用なども考えてみて下さい。
英語	教科書の内容やトピックの範囲(視野)が狭く、会話練習が思うようにいかないことがありました(UNIT4、11 etc.)。	会話練習ということですから、コミュニケーション英語Aのことですね。できるだけ、実生活で遭遇しそうな場面を設定することを方針としています。そのため話題が限定されたり、学習する表現の幅が狭くなっているように感じるユニットもあるかと思えます。教科書に出てくる例で不十分な場合は、各教員がクラスの状況に合わせて、活動を工夫してくれているはずですが、再度、教員ガイダンスなどで、指示を徹底しようと思えます。
	英語Aから高い教科書を買わされ続け、ほとんど使ってない。何のために購入させられたのか。大学側と講師側の意思が統一されていないからでは。	テキストは、授業の主たる教材として、活用するように教員ガイダンスでも、強調しております。また、授業中だけでなく、自宅学習にも活用できるように、モデル音声を録音したCDなども付属させています。今後、もっと、皆さんに有効だったと思ってもらえるような改善を行ってゆきたいと思えます。
	英語はA,Bなくても良いと思った。AとBの差が余り無い。	コミュニケーション英語Aは、少人数クラスでスピーキング活動を、コミュニケーション英語Bは、中人数クラスでリスニング活動を、それぞれ主たる授業活動としています。ただし、英語でのコミュニケーションには、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングのすべての技能が必要となります。どれか一つの技能だけを伸ばすことは不可能です。そのため、教科書には、それぞれの授業の主たる活動中心としながら、他の技能も活用する活動も盛り込んでいます。
授業の難易度	数 未習のクラスなのに、小テストが難しく、授業内容も数 を学習していないと分からないものであった。	授業レベルの設定については受講生の意見が分かれがちですし、授業の到達目標とも関わりますから、教員にとっては難しい調整作業の一つです。来期の授業への参考意見として、授業担当者へ報告しておきます。
	授業が簡単すぎてつまらない。数 履修者と未履修者が混ざって授業しているので授業が低レベル。これを完全に分けて授業を行うか、または入試時に数 必修にすべき。教科書も高校内容と同じ部分が半分を占めており、他大学と差が出て困る。	授業レベルの設定については受講生の意見が分かれがちですし、授業の到達目標とも関わりますから、教員にとっては難しい調整作業の一つです。また、レベル別のクラス編成をするためには様々な問題が派生します。しかし、受講生からの要望が複数あることを認識して、これからの重要な検討課題の一つとして議論していきます。
	レベル別に授業して欲しかった。推薦の人はついていきにくいと思う。ついていけないということはやっても意味がないと思う。	
	エアコンが7月からしか入らない(一部が)というのを見直してくれ。	講義棟の改修の影響で、ご指摘の問題が発生していました。工事の工期上やむを得ない取り扱いとなり、学生の皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

区分	意見	大学からの回答
施設について	全ての授業に言えるがエアコンの28度設定は暑い。勉強をする環境ではない。	愛媛大学は、大学憲章において、地域・環境・生命を主題とする教育に力を注ぐとともに、この主題のもとでの学術研究を重点的に推進することを宣言しています。この理念のもと、みなさんと教職員が協力して良好な学内環境を構築し、地球環境に配慮するよう努めていきたいと思います。愛媛大学は国が推進する「チーム・マイナス6%」(地球温暖化防止「国民運動」)に参加しています。
	実験室の机のゆがみが原因で測定値にばらつきがでました。共通教育本館の改修を希望します。	共通教育本館は、現在、総合研究棟として改修工事が行われています。実験室については、現在の物理学実験室、化学実験室、生物学実験室を廃止し、新たに多目的実験室を設置する方向で検討が進められています。実験台等についても併せて検討することとしています。
情報科学	ログインに時間が掛かりすぎたり、アクセスが出来なかったり、色々と問題が多いように思うので、それを何とかして欲しい。	マイドキュメントへのアクセス不能のトラブルでは解決までに時間がかかり授業に支障を来すこととなり、利用者にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びいたします。 総合情報メディアセンターでは計算機とネットワークの各種トラブルは教育・研究遂行上の重大な問題と認識しております。短期的なトラブル解消に止まらず、中・長期的な視点で全学共通インフラとしてシステムのセキュリティと安定的な運用について検討・実施する所存であり、限られた予算の中で最大限の教育効果をあげるため、教職員一同がシステム運営にあたっています。今後も、利用者のご理解とご協力をお願いいたします。

その他プラス部分についてのコメント

先生が頑張る方向性を示してくれたので最後まで頑張れた。
私語に対して厳しく対処していただいたので授業を受講しやすかったです。
視覚教材を多用し、百聞は一見に如かず、で体で理解できたのが良かった。
各担当の講師が、自分の専門分野を丁寧に説明してくれた点が、ありがたかったし、良かった点です。
先生が本当に楽しそうに授業をしてくれた。
嫌いな世界史だったのに話がつながるのが凄くよかった。自分の世界史の知らなさにも驚いたけれど、それでも知らないことが分かったのは凄く嬉しいし、また楽しかった。
授業ごとにシラバスが配られたことで、一日の流れが分かりやすかったです。
自分は初めはこの授業に乗り気ではなかった。高校でやったことをまたやるなんて思うと大学に入った意味がないと自分のせいなのに嫌で仕方が無かった。しかし、授業を受けることでその考えは大きく変わった。高校で習った内容はもちろんであるが、大学で必修の微分積分の基礎もきちんと学ぶことができるため、非常に有意義であった。毎回の課題のおかげで勉強をする習慣がつくこともまた評価できると思う。先生の生徒に分かってもらいたいという気持ちが大きく伝わってきて、こちらのやる気も出てくる授業であった。
WEBで勉強できるのがありがたかった。
非常にわかりやすかったです。とはいっても、夏季休業中、「朝鮮語」は絶対毎日復習しようと思いました。絶対忘れないように！
難しかったが、逆にその方が必死になるので力になった。生徒を引っ張る授業だったので生徒がついていけないからといって変にレベルを落として中途半端な授業にならずとても勉強になった。
先生の提案されるスポーツは知らない人ともコミュニケーションをとるのにとても有効なものだと思いました。
授業が楽しかった。家庭学習の大切さがわかった。
TAの人が親切に教えてくれてとても嬉しかった。